

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成20年3月分)について

(3月31日現在)

(1) 問い合わせ件数

平成20年3月1日～平成20年3月31日

75件

(2) 内訳

① 食品安全委員会関係	15 件
委員会	2 件
リスクコミュニケーション	2 件
広報・ホームページ・メールマガジン	9 件
食品安全基本法	1 件
食育	1 件
② 食品の安全性関係(注1)	10 件
化学物質系	4 件
新開発食品等	5 件
BSE関係	1 件
③ 食品一般関係(注2)	47 件
化学物質系	6 件
BSE関係	1 件
衛生関係	26 件
食品表示関係	8 件
その他	6 件
④ その他	3 件

注1) 食品の健康影響評価に関する事、ファクトーシートの内容に関する事等、主として
食品安全委員会の行う科学的評価に関する事項

注2) 食品一般に関する事項及び表示や衛生管理等、主としてリスク管理に関する事項

(3) 問い合わせの多い質問等

【食品安全委員会関係】

Q . 「食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座」について教えてください。

A. 本講座は、地域におけるリスクコミュニケーション活動において、その担い手となる方々に、ファシリテーション^{※1}の基礎的な知識や技術を習得していただくことを目的として、平成19年度から食品安全委員会が新たに始めた事業です。

平成18年度から実施している「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」の受講者を主な対象に、各回1日、約30名の規模で、平成19年度には全国11ヶ所において、地方自治体との共催により実施しました。

カリキュラムは、リスク分析と食品安全委員会の役割についてのDVDの視聴、ファシリテーションの基礎知識に関する講義、更には傾聴やアイスブレイク^{※2}など基本的スキルの体験や実習、合意形成の手法として用いられるワークショップの体験などからなっています。

本講座にご参加いただいた皆様が、その成果を積極的に地域での活動に還元していただけることを期待しています。

平成20年度も継続して実施する予定ですが、具体的な開催日程及等詳細については、順次食品安全委員会のホームページやメールマガジン等でご案内する予定です。

(参考) http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html

※1 ファシリテーション (facilitation) の原意は、「促進すること」、「容易にすること」等であり、本講座では、地域におけるリスクコミュニケーション活動において、消費者、事業者などさまざまな関係者の立場や主張を理解し、また意見や論点を明確にするなど、効果的な意見交換のための手法としてとり入れている。

※2 アイスブレイク：初対面の参加者同士の抵抗感をなくし、コミュニケーション促進のために行うものであり、様々な手法がある。